

# 11

## 森のおくりもので作品をつくろう

伊勢市立上野小学校



木の重さを体験



集めた葉や実、枝を使ってオブジェ作り



林業の話聞く様子

### ねらい

- ・自分が育つふるさとの良さを知り、里山を大切なものだと認識する
- ・作品作りを通して、木材や自然の良さを体感する
- ・林業の仕事を学び、森のせんせいの森に対する思いを知る

### 取組内容

伊勢市立上野小学校では、1年生9人が森のせんせいから林業の話の聞いたり、チェーンソーでヒノキの皮つき丸太を目の前で円盤に切ってもらったりしました。

また、教室で切り取った円盤を台にして木の実や枝、葉を使ってオブジェ作りを楽しみました。教室がさわやかなヒノキの香りにつつまれ、すてきな作品ができて子どもたちは満足そうでした。

活動の後、森のせんせいから再びくわしく森の仕事の話の聞き、子どもたちは、自分たちの身近な森が人の手で守られているのだと知ることができました。木を生活に使っていくことが森を守ることにつながると感じ「木が大好き」と言葉にしていました。

【先生のコメント】 木の好きな里山を守る人に育つことを願っての出前授業は、子どもたちにとってとても楽しく貴重な体験となりました。森と里山で人と自然が共生していくことにつながる「木が好き」という気持ちを持たせることができました。

内 容	・森の仕事の話 ・オブジェづくり
時 間	2 時間（生活・図工科）
場 所	1 年生教室、運動場
対 象	1 年生 9 人
講 師	森のせんせい：福山成宣氏
備 考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業